

10/10-16 聖書日課と分かち合い

10月10日(月) エズラ4:1-5 神殿建設の困難

1 ユダとベニヤミンの敵は、捕囚の子らがイスラエルの神、主のために聖所を建てていることを聞いて、2 ゼルバベルと家長たちのもとに来て言った。「建築を手伝わせてください。わたしたちも同じようにあなたがたの神を尋ね求める者です。アッシリアの王エサル・ハドンによってここに連れて来られたときから、わたしたちはこの神にいけにえをささげています。」3 しかし、ゼルバベルとイエシュア、他のイスラエルの家長たちは言った。「わたしたちの神のために神殿を建てるのは、あなたたちにではなく、わたしたちに託された仕事です。ペルシアの王キュロスがそう命じたのですから、わたしたちだけでイスラエルの神、主のために神殿を建てます。」4 そこで、その地の住民は、建築に取りかかろうとするユダの民の士気を鈍らせ脅かす一方、5 ペルシアの王キュロスの存命中からダレイオスの治世まで、参議官を買収して建築計画を挫折させようとした。

手伝いの申し出は、一見嬉しいことのようにも思えます。「(私たちの不信仰がこの事態をまねいたのだから) 主のために私たちだけで」という思いは頑なな部分が出てしまっているようにも見えます。でも神さま目線で見ると、この頑なさは嬉しいことなのではないでしょうか。

10月11日(火) エズラ5:17-6:5 キュロスの布告の再確認

17 従って、もし王のお心に適いますなら、エルサレムにあるこの神殿を建てよとの命令が、キュロス王によって出されたことがあるのかどうか、バビロンにある王宮の記録保管所をお調べいただきたいのです。また、この件に関する王様の御裁定もいただければ有り難く存じます。」

1 そこで、ダレイオス王により命令が出され、バビロンにある記録保管所が調べられ、2 メディア州の都エクバタナで一つの巻物が見つかった。それには、このように記されていた。

「覚書。3 キュロス王の第一年、キュロス王、勅令を發布。エルサレムの神殿、いけにえをささげる場所として、以前の基礎を保ったまま、神殿は再建されなければならない。建物の高さは六十アンマ、間口は六十アンマとする。4 切り石の列を三段置き、木材の列を一段置く。費用は国庫負担とする。5 更に、ネブカドネツアルがエルサレムの神殿から取り出して、バビロンに持って来た神殿の金銀の祭具類は返還され、エルサレムの神殿にある元の場所に戻されなければならない。それをその神殿に納めるようにせよ。」

「神さまのなさることはすべての時にかなって美しい」(コヘレトの言葉 3:11)

神さまのご計画の通りに進んでいたのだと思わされます。

「六十アンマ」は約 27 メートル。当時の工法で高さをこれほどにするには大変な作業なのかと想像できます。

10月12日(水) ハガイ2:1-9 預言者ハガイの励まし

1 七月二十一日に、主の言葉が、預言者ハガイを通して臨んだ。2 「ユダの総督シャルティエルの子ゼルバベルと大祭司ヨツァダクの子ヨシュア、および民の残りの者に告げなさい。

3 お前たち、残った者のうち

誰が、昔の栄光のときのこの神殿を見たか。

今、お前たちが見ている様は何か。

目に映るのは無に等しいものではないか。

4 今こそ、ゼルバベルよ、勇気を出せと

主は言われる。

大祭司ヨツァダクの子ヨシュアよ、勇気を出せ。

国の民は皆、勇気を出せ、と主は言われる。

働け、わたしはお前たちと共にいると

万軍の主は言われる。

5 ここに、お前たちがエジプトを出たとき

わたしがお前たちと結んだ契約がある。

わたしの霊はお前たちの中にとどまっている。

恐れてはならない。

6 まことに、万軍の主はこう言われる。

わたしは、間もなくもう一度

天と地を、海と陸地を揺り動かす。

7 諸国の民をことごとく揺り動かし

諸国のすべての民の財宝をもたらし

この神殿を栄光で満たす、と万軍の主は言われる。

8 銀はわたしのもの、金もわたしのものと

万軍の主は言われる。

9 この新しい神殿の栄光は昔の神殿にまさると

万軍の主は言われる。

この場所にわたしは平和を与える」と

万軍の主は言われる。

神殿を廃墟のままにして暮らしているユダの民に向けての主の言葉です。

先ずは自分たちの生活の安定をと考えてしまっている彼らに、恐れずに信仰に立って再建に努めなさいと励まして下さっています。

10月13日(木) ゼカリヤ6:9-15 預言者ゼカリヤの励まし

9 主の言葉がわたしに臨んだ。 10 「帰還した捕囚の中から、ヘルダイ、トビヤ、エダヤの家族から、贈り物を受け取りなさい。あなたはその日のうちに、ツェファンヤの子ヨシヤの家に入りなさい。彼らはバビロンから帰ったばかりである。 11 銀と金を受け取り、冠をつくり、それをヨツァダクの子、大祭司ヨシュアの頭に載せて、 12 宣言しなさい。

万軍の主はこう言われる。

見よ、これが『若枝』という名の人である。

その足もとから若枝が萌えいでる。

彼は主の神殿を建て直す。

13 彼こそ主の神殿を建て直し

威光をまとい、王座に座して治める。

その王座の傍らに祭司がいて

平和の計画が二人の間に生ずる。

14 冠はヘレム、トビヤ、エダヤ、およびツェファンヤの子の好意を記念するものとして、主の神殿に置かれる。15 遠方からも人々が来て、主の神殿の建築に携わる。」こうして、あなたたちがひたすらあなたたちの神である主の声に聞き従うなら、万軍の主がわたしをあなたたちに遣わされたことを知るようになる。

予言者ゼカリヤを用いて大祭司ヨシヤが立てられ、神殿の立て直しを進める後押しをしてくださっています。現在はイエスさまが神さまと私たちの間におられ、イエスさまを通して話すことが出来ますが、旧約の時代では預言者を通じて神さまの言葉が伝えられていました。ですから預言者の方は直接神さまと話していました。そのことだけは羨ましいですが、その分、大きな働きを担っていました。

10月14日(金) ルカ6:46-49 岩の上に土台を置いて

46「わたしを『主よ、主よ』と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか。47 わたしのもとに来て、わたしの言葉を聞き、それを行う人が皆、どんな人に似ているかを示そう。48 それは、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている。洪水になって川の水がその家に押し寄せたが、しっかり建ててあったので、揺り動かすことができなかった。49 しかし、聞いても行わない者は、土台なしで地面に家を建てた人に似ている。川の水が押し寄せると、家はたちまち倒れ、その壊れ方がひどかった。」

私はいつもこのたとえ話と「三匹の子豚」の話が重なってしまいます。子供の頃に子豚で描いたこのたとえ話の絵を見たのかもしれない。

大切なのは主の言葉を「聞くだけ」でなく、「行う人」になることです。

10月15日(土) 詩編127:1-5 主御自身が建ててくださる

1 【都に上る歌。ソロモンの詩。】

主御自身が建ててくださるのでなければ

家を建てる人の労苦はむなし。

主御自身が守ってくださるのでなければ

町を守る人が目覚めているのもむなし。

2 朝早く起き、夜おそく休み

焦慮してパンを食べる人よ

それは、むなしなことではないか

主は愛する者に眠りをお与えになるのだから。

3 見よ、子らは主からいただく嗣業。

胎の実りは報い。

4 若くて生んだ子らは、勇士の手の中の矢。

5 いかに幸いなことか

矢筒をこの矢で満たす人は。

町の門で敵と論争するときも

恥をこうむることはない。

「神がなされるのでなければ、人間のなすことはすべてむなしい」この世での真理の一つです。

どうせ頑張るのなら神さまの御旨に叶うことをしていきたいですね。

10月16日(日) エズラ6:13-22 神殿の完成

13そこで、ユーフラテス西方の長官タテナイとシェタル・ボゼナイ、およびその仲間たちは、ダレイオス王が書き送ったことに従い、命令どおり実行した。14ユダの長老たちは、預言者ハガイとイドの子ゼカリヤの預言に促されて順調に建築を進めていたが、イスラエルの神の命令と、ペルシアの王キュロス、ダレイオス、アルタクセルクセスの命令によって建築を完了した。15この神殿は、ダレイオス王の治世第六年のアダルの月の二十三日に完成した。16イスラエルの人々、祭司、レビ人、残りの捕囚の子らは、喜び祝いつつその神殿の奉献を行った。17この神殿の奉献のために雄牛百頭、雄羊二百匹、小羊四百匹をささげ、また全イスラエルのために贖罪の献げ物としてイスラエルの部族の数に従って雄山羊十二匹をささげた。18そしてモーセの書に書き記されているとおり、エルサレムにおける神への奉仕のために、祭司たちをその担当の務めによって、レビ人をその組分けによって任務に就かせた。

19捕囚の子らは、第一の月の十四日に過越祭を行った。20祭司とレビ人は共に身を清めていたので皆清く、捕囚の子ら皆のため、仲間の祭司のため、また彼ら自身のために、過越のいけにえを屠った。21捕囚の地から帰って来たイスラエルの人々も、イスラエルの神なる主を尋ね求めて、その地の諸民族の汚れを離れて来た人々も皆、過越のいけにえにあずかった。22そして七日間にわたって、喜び祝いつつ除酵祭を行った。主がアッシリアの王の心を彼らに向け、イスラエルの神の神殿を再建する工事を支援させて、彼らに喜びを与えられたからである。

神さまが約束して下さったことは必ず成就される。私たちはそれを分かっている、その時を待てずに不安になり、横にそれてしまったり、離れてしまったりしてしまう。それでも最後には必ず約束は成就され、そのご計画は完璧です。バビロン捕囚は70年と云われています。もう世代は代わっているはずですが、変わらずに信仰を持ち続けるの神殿完成の喜びはひとしおであったと思います。